



ロボット作りに励む親子

ロボット作りに悪戦苦闘

東百舌鳥高
稲川教諭が
梅文化で親子教室

8月11日10時～12時、梅文化会館で東百舌鳥高校の稲川孝司教諭が講師になり、「親子でロボット工作教室」が開催された。

参加者の小学1～3年生と保護者は、入り口でロボットの組立キットのデザインを選んで席についた。稲川さんはまず、振動モーターの仕組みを説明。次に、時計回りイコール締まるという知識が無い子も多いのでドライバーの使い方を説明した。

子どもたちは慣れない道具や図面に悪戦苦闘。保護者の約半数はお父さんで、図面の見方をアドバイスしたり、間違っくてくっつけたところをはずしたりと頼りになる所を見せていた。完成が近づくにつれ、子どもたちのドライバー扱いもさまになってきた。

ロボットが完成すると、

次はより速く走るように微調整。中にはサンプルと自分のロボットを見比べて微調整する研究熱心な子も。最後はみんなでレースをして楽しんだ。
杉本